

# 令和6年能登半島地震による石仏等の被害・第5報

2024年2月29日までに確認のもの

撮影者

川端典子(富山県朝日町)

尾田武雄(富山県砺波市)

滝本やすし(石川県金沢市)

富山県朝日町境の西墓地 1月4日 川端撮影

砂岩製の石仏が並んでいる。以前から破損しており、補修されていた。准胝観音と青面金剛が転倒、さらに破損が大きくなっている。



被災前の准胝観音と青面金剛(2014年撮影)



富山県小矢部市松尾の松尾神社 2月18日 尾田撮影  
鳥居と奥殿前の灯籠が倒壊している。





石川県輪島市熊野町の熊野神社 2月29日 滝本撮影

鳥居が倒壊、扁額が割れている。灯籠も倒壊、笠や竿が川に転落している。狛犬も台座から転落している。境内周辺の斜面が崩落している。





石川県輪島市横地町の曹洞宗粉川寺 2月29日 滝本撮影

登り口の寺号標柱が転倒している。本堂は損壊が激しい。輪島市指定文化財の木造仁王像は、金剛像(阿形)の頭部などが落ちている。地蔵堂では地蔵が転倒散乱している。参道の馬頭観音も破損が進んでいる。



被災前の金剛像



被災前の地蔵堂



石川県輪島市河井町の曹洞宗蓮江寺 2月29日 滝本撮影

地震後に発生した大規模火災によって本堂が全焼した。西国三十三ヶ所観音のほとんどが転倒損壊している。六地藏も同様である。



全焼した本堂



寺の向かいは広大な焼野原、立ち入り禁止が解除されていた。



被災前の西国三十三ヶ所観音



石川県輪島市輪島崎町の曹洞宗聖光寺 2月29日 滝本撮影

山門が傾き、本堂も損傷が激しい。境内には、大きな段差や亀裂がみられる。地蔵が転倒している。





石川県輪島市鳳至町の奥津姫神社 2月29日 滝本撮影

急な斜面に建てられており、参道が斜面の崩落に呑み込まれている。危険なので入れないが、拝殿や本殿は崩落箇所の奥なので倒壊していないと思われる。





石川県輪島市鳳至町の曹洞宗永福寺 2月29日 滝本撮影

本堂は損傷が激しい。寺号標柱が転倒。地蔵堂が石段上に転落、地蔵が雨ざらしになっている。境内では石塔や石仏が散乱している。





石川県輪島市鳳至町の浄土宗法蔵寺 2月29日 滝本撮影

山門が倒壊、本堂も損傷が激しい。地蔵堂では地蔵が倒れている。墓地ではほとんどの墓標が転倒している。





石川県輪島市鳳至町の住吉神社 2月29日 滝本撮影

倒壊した社号標柱、鳥居、灯籠、狛犬、手水舎などが参道脇に寄せられ、修復作業が始められている。

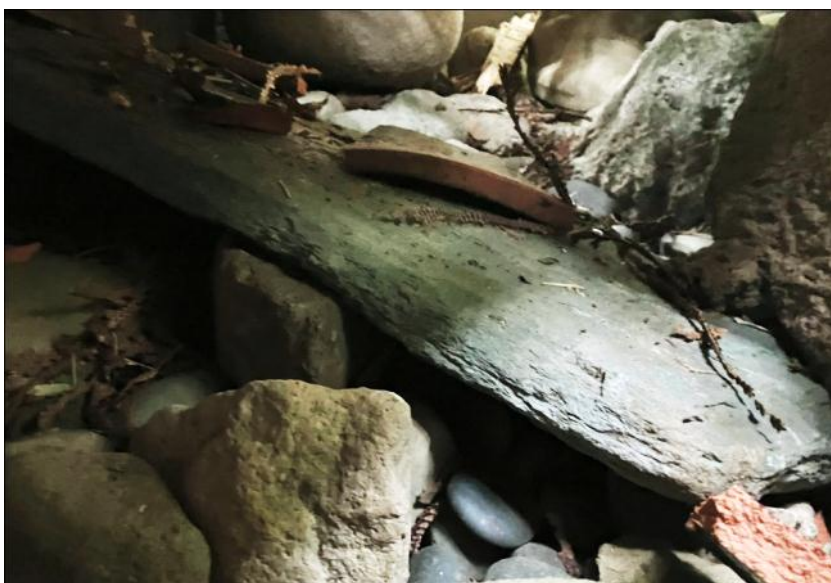


石川県輪島市中段町の路傍 2月29日 滝本撮影

石川県指定史跡の秩父産緑片泥岩製の阿弥陀三尊種子板碑。覆い堂が倒壊して、下敷きになっている。わずかな隙間から板状の青い石が見えるが、二条線や種子を確認できないことから、見えているのは板碑の背面下部と思われる。



倒壊した覆い堂



隙間から見える板状の青い石

被災前の板碑





石川県輪島市中段町の白山神社 2月29日 滝本撮影

地震による土砂崩れで林道が不通のため、麓から険しい山道を登らないと辿り着けなかった。境内には亀裂や段差があり、本殿が倒壊、拝殿も倒壊寸前である。木製の鳥居は傾いており、狛犬が台座から転落している。石川県指定文化財の石造五重塔が倒壊、初層に納められていた石仏が転がっている。

倒壊した本殿



台座から転落した狛犬



倒壊した五重塔



被災前の五重塔





石川県輪島市小伊勢町の廣田神社 2月29日 滝本撮影

社号標柱、鳥居、灯籠などが倒壊。拝殿が全壊、本殿も倒壊寸前である。



倒壊した社号標柱、鳥居、灯籠など



全壊した拝殿



狛犬などが散乱している本殿



石川県輪島市門前町本市の路傍 2月29日 滝本撮影

旧道の分岐点に建てられている「馬頭観世音」と刻まれた石塔。道標と六十六部回国塔も兼ねている。以前から転落の際の傷があったが、今回の転落によってさらに傷が増えた。



被災前の石塔





石川県輪島市門前町広瀬の曹洞宗覚皇院 2月29日 滝本撮影

門前に大乘妙典塔と名号塔が並んでいたが、大乘妙典塔が前に倒れている。境内に建てられていた2基の回国塔のうちの1基が倒れている。その他の石塔や地蔵なども転倒散乱している。



被災前的大乗妙典塔



被災前の回国塔



被災前の  
南無大師遍照金剛塔





石川県輪島市門前町門前の路傍 2月29日 滝本撮影

庚申塔が石段下の堀端交流広場へ転落、広場に建てられていた祠は全壊している。広場は災害ゴミの集積場になっている。この広場には2007年の地震からの復興を感謝して2011年に建てられた「能登半島地震復興感謝之碑」が建てられている。



転落した庚申塔と集積された災害ゴミ

被災前の庚申塔



「能登半島地震復興感謝之碑」と集積された災害ゴミ

碑の裏面には「震災が残してくれたやさしさ 思いやり 絆 仲間 私たちは忘れない」と刻まれている。



石川県輪島市門前町門前の曹洞宗總持寺祖院 2月29日 滝本撮影

2007年の地震の甚大な被害から14年後の2021年に完全復興を成し遂げ、落成慶讃法要が行われた。それからわずか3年足らずで、前回よりも大きな地震に見舞われた。芳春院が全壊、他の諸堂にも被害があった。復旧工事が行われており、拝観休止中である。





石川県輪島市門前町鬼屋の路傍 2月29日 滝本撮影

農地の一角に建てられていた庚申塔。2007年の地震で台座から転落、2つに割れた。その後修復され、建て直されていた。今回の地震でも転落したが割れなかった。

今回の地震で台座から転落した庚申塔



1995年の庚申塔



2007年地震直後の庚申塔



修復された庚申塔(2018年池田紀子撮影)





石川県輪島市門前町道下の高野山真言宗寶泉寺 2月29日 滝本撮影

山門が倒壊、不動尊堂は倒壊寸前、本堂も損傷が激しい。石塔や石仏が転倒している。



被災前の「南無地蔵大士」石塔

